

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念を持ち、サービスの提供を行っている。各利用者が地域の住民として、その人らしく暮らしていけるよう全職員で確認し合っている。毎月全体会議を開き、意見交換の場を設けている。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念について全職員で話し合い、統一した目標を掲げ、日々理念の実現に取り組んでいる。職員のもっとうとして「優しさ、笑顔を忘れずに…」 「ゆっくり一緒に楽しみながら」「手をださず、口を出さず、目を離さないことを心がけ…」をホーム内に掲示して、日々取り組んでいる。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	理念を事業所の玄関口に見やすいように掲示し、面会者に説明している。広報りんどうを毎月発行し御家族様、地域住民、商店街、警察署、市役所等に配布し入居者のホームでの暮らしや取り組み等を理解して頂ける様に努めている。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	散歩や買い物など外出の際は、近所の方に挨拶したり声がけてコミュニケーションを図るように努めている。地域の一員として地域行事（馬市祭りや、ねぶた見学他）への参加や、近所の保育所の行事（夏祭り、人形劇、運動会等）と一緒に参加するなど交流を図っている。利用者のプライバシーに配慮しながら、ボランティアの受け入れを行っている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自らサービスの質の確保と向上を図る為の物である事を理解し、自己評価は項目ごと皆で話し合い記述した。昨年度の評価結果を元に、全職員で改善に向けて取組み、良いケアサービスを提供できるように努めている。	
6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の状況や活動状況の報告を行い、グループホームの事をよく分かってもらえるように、又意見や要望を引き出せるように働きかけている。会議では自己評価や外部評価の結果を基にした改善等について報告し、意見交換を行うなど、サービスの質の確保、向上に繋がられる様に努めている。	
7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所にも広報の配布を行ってる。市町村との定期的な意見交換は行っていないが、現場の実情を伝えケースや場合により福祉課職員や介護保険課職員と直面している課題解決に向けて話し合いを持っている。	
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、新任介護職員が多く、一部の職員のみで全職員の知識、理解が得られていない。	○ 新任介護職員にも今後、外部研修への参加や以前の参加資料を基に職場内研修を通して制度が必要と思われる入居者様に活用できるようにしていきたいと思っている。
9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	朝の申し送り等、機会を見つけては日々、介護職員間で様々な虐待と思われるような行為については、問題提起し注意喚起を促している。虐待防止マニュアルを作成し周知、徹底を図っている。	○ 新任介護職員の外部研修への参加、虐待防止マニュアルを活用して職場内で勉強会を通して周知、徹底を図れるようにいきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
10	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は契約書類や重要事項説明書をもとに十分説明を行い、理解、納得をして頂いた上で文書にて同意を得ている。退去の際は本人やご家族様が理解、納得される形で行っている。また退去先への情報提供を行い支援をしている。	
11	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様のご意見、不満、苦情については職員間でその都度、情報を共有して対応策を話し合い改善に努めている。又、入居者様に運営推進会議に出席して、ご意見を述べて頂く機会を設けている。	
12	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	入居者様の生活の様子や職員の異動時は面会時に報告している。健康面について定期以外の受診の必要が生じた場合は、事前の報告、相談をして対応している。金銭管理については小遣い帳を作りコピー、及びレシートの送付にて確認をしている。	
13	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見、要望など話しやすい雰囲気作りに努めており内部と外部の苦情受付窓口を明示している。ご意見箱を玄関口に設置し、ご家族や訪問者等からの様な意見でも頂けるように、またそれを日々のサービスに反映させていくようにしている。	
14	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の採用や入居者の受け入れ等の決定事項について職員の意見を聞く機会を設けており反映させている。	
15	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	必要な職員は確保しており、緊急時及び職員の急な休み等の際には代わりの職員を配置するなど職員間で話し合い随時調整を図っている。又ホーム内外の行事への参加時にも随時勤務調整を行っている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職を減らせるように労働環境、不満等について職員の意見を聞き労働意欲が湧くような環境づくりに心がけている。入居者様においては職員の離職で認知症状に悪影響を及ぼさないようにメンタル面のケアを重視して対応している。		
5. 人材の育成と支援			
17 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年度初めに研修計画を作成しているが、随時、職員個々の力量、経験に応じた研修を受講させ受講後に報告書を作成させ、報告の機会を設け職員全員でケアに反映できるように心がけている。		
18 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会に加入している。協会が主催する研修会への参加、他事業所との情報交換や交流を図るように努めている。		
19 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩時間、休憩場所の確保はされており、職員同士の意見交換の場を設けて仕事の不安、不満を表出できるように配慮している。		
20 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	現場の状況や職員個々の努力や実績、勤務状況の把握に努めている。就業規則の遵守、徹底を図っている。労働基準法にそって職員の労働条件を整えている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
21	○初期に築く本人、家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談があった場合、本人及びご家族の思いや希望、ニーズを把握するように努めている。話を傾聴し信頼関係を構築できるように対応している。相談者の都合に合わせて利用希望者、家族の自宅、或いは入院中であれば病院へ伺うこともある。	
22	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時のニーズに対して何が必要かを見極め、場合によっては他福祉関係者との連携を図り、他のサービス機関に移行する支援を行っている。	
23	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	いつでも入居前の見学を受けいれている。入居希望者、ご家族双方の意向に沿ったサービス開始となるように十分話し合いを重ね調整している。ホームでの共同生活に慣れるまでは職員間で細かく情報を共有し他入居者や場に馴染んでもらえるように配慮、支援を行っている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
24	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	理念に基づき、共に過ごし支えあっている。入居者様は人生の先輩でもあるという敬意をもって接している。入居者様の得意分野で力を発揮して頂いたり、生活の知恵を教えて頂いている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の思いを大切にしている。楽しいこと、困りごとなど情報を共有し共に支えあう関係を築くように努めている。		
26 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	広報配布の他、遠方にいるご家族様には個々の様子を書いた手紙と間近の写真を同封して郵送している。時には入居者とご家族様の電話を取り次いだりし支援を行っている。		
27 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会者が訪問しやすいような雰囲気作りに努め電話の取次ぎ、入居者の書いた手紙や葉書の投函支援を行っている。入居前から通っていた理容院利用できるようにも支援している。		
28 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員は入居者同士が共に助け合い、支えあって暮らしていくことの大切さを理解している。又入居者同士の人間関係を把握し、レクリエーションや共同作業の機会を設けるなど、より良い人間関係を築けるように支援している。		
29 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス終了後も利用者や家族の相談や支援に応じる旨を説明している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 一人ひとりの把握			
30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は入居者の思いや希望、意向を把握できるように蜜にコミュニケーションを図り、寄り添い話を傾聴するように努めている。本人の視点に立って検討し必要に応じて家族や関係者から情報収集を行っている。	
31	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ホームにおいても、その人らしく、暮らせるように、その生活歴やライフスタイル、個性、価値観等の把握に努めている。本人やご家族様はもとより担当ケアマネジャーやサービス担当者など入居者を良く知っている方々からの情報収集も行いその把握に努めている。	
32	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一日の過ごし方や生活リズムの把握に努めている。又それぞれの入居者について日々の生活を通して出来る事、出来ない事、理解力等、総合的に現状を把握するようにしている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画作成時には入居者がその人らしく暮らし続けることが出来るように本人やご家族様の意向を十分に聞き計画に反映させるように努めている。又全職員の意見や気付きを基に職員間での十分な話し合いの上で介護計画は作成されている。	
34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の実施期間を明示し期間に応じて職員間でカンファレンスを行い見直しを図っている。入居者の状況、状態に変化があった場合も、その都度話し合い、随時、見直しを行っている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
35	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
36	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
37	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>		
38	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>		
39	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	○	今後、入居者の意向や必要性があれば、地域包括支援センターとの協働をしていきたいと思っている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
41	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
42	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
43	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
44	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
45	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>入居者が別の場所に移り住む場合は住み替えによるダメージが最小限となるようにプライバシーに配慮した上で移行先への詳細な情報提供を行っている。</p>	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
47	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>日々、入居者のプライバシーに配慮して業務を行っている。特に排泄介助時は入居者の羞恥心に十分配慮して対応している。声掛けや対応については全職員で随時確認、振り返り、見直しをするように努めている。個人情報は入居者や面会者の目に付かないように事務所にて保管している。</p>	
48	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>入居者一人ひとりの状況に合わせた対応をしている。入居者本人が思いや希望を表出できるように、また納得して自己決定できるように時間をかけて説明したり、選択肢を提示するなどして支援している。</p>	
49	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者一人ひとりのその日の体調や気分を考慮して起床時間や食事時間をずらす等それぞれのペースや生活リズムに合わせた支援を行っている。</p>	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
50	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>入居者の個性や希望を尊重し、好みで衣類を選んだり、おしゃれが出来るように支援している。入居者全員が個々の行きつけの理美容院を利用し、カット、パーマ、白髪染めなど希望で行っている。職員が連絡し送迎を行い、理美容院からは認知症の方の理解が得られている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
52	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
53	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
54	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
55	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
56	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員は入居者自らが金銭管理を行うことの重要性を理解しており、自己管理できる入居者には金銭管理を行ってもらっている。買い物の際には入居者に確認してもらいながら支払いをしてもらったり、代行を行ったり、個々の希望や力量に合わせた支援を行っている。		
58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の楽しみや気分転換等に繋がるように散歩や買い物は個々の希望と状態に合わせて日常的に行われている。入居者の希望に沿えるように様に外出支援に努めている。		
59	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	何処に行きたいか希望を聞き年に数回、ホームの行事として出かける機会を設けている。		
60	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時、家族や友人などへの電話の取次ぎを行い、馴染みの方々との繋がりを持ち続ける事ができるように支援を行っている。また手紙やはがきのやり取りを楽しみにされている入居者もいっしょにポスト投函までの一連の支援も行っている。		
61	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間の設定はしているが、面会に来られる方の事情に配慮して時間外でも柔軟に対応している。職員はご家族さま等がいつでも気軽に立ち寄れるような雰囲気作り、声掛けに努めている。		
(4)安心と安全を支える支援				
62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	運営者及び職員全員が身体拘束の内容やその弊害について理解している。高齢者虐待防止マニュアルを作成し、その遵守、徹底を図り身体拘束のないケアを心がけている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、入居者が出入りする場所や玄関に鍵をかけることはせず、行動を見守ったり、ドアに鈴をつける等の工夫をしている。外出傾向を察知した時には少し距離をおいて見守り、様子をみてさりげなく声掛けを等の対応をとっている。無断外出に備えて日頃から挨拶したり広報を配布する等、近隣からの協力を得られるように働きかけを行って		
64 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	ホームの設備上、全体を見渡しやすい環境にある。職員はプライバシーに配慮しながら昼夜共に常に見守り、様子を把握し安全に気をつけている。		
65 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物、及び洗剤等、事故に繋がり危険が予想される物については入居者の手の届かない、且つ目に付かない保管方法をとっている。ハサミ、爪きり等使用の際は見守りを行うなど一人ひとりの状態に応じて注意の必要な物品の取り扱いに気をつけている。		
66 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	想定される事故を考え未然に防止できるよう随時、職員間で話し合いを持っている。ヒヤリハット報告書、介護事故報告書をファイルしている。発生時には職員で話し合い改善策を考え以降のケアに繋げ事故防止に取り組んでいる。		
67 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	夜間の緊急連絡網はじめ、緊急時対応マニュアルを作成し緊急時に備えている。応急手当については講習会に参加をして職員の周知を図っている。		
68 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策として、定期的に日中及び夜間をを想定して避難誘導訓練を入居者、職員が一緒になって行っている。訓練を行う際は事前に地域住民、商店街にも広報で連絡すると共に理解、協力を得ている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	転倒による事故の可能性や深夜居室で体調急変の可能性など一人ひとりに起こりうるリスクについてご家族様に説明している。ご家族様の意見、考えを聞き、その場合の対応策を話し合っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
70 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日、バイタル測定を行い、日々の健康状態の把握に努めている。入居者一人ひとりの疾病の有無や留意事項等、全職員で確認をし合っている。異変があった場合は緊急に受診介助するなどの対応をしている。		
71 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が入居者の内服薬の内容の把握出来るように個々のケースファイルに薬剤情報を綴っている。内服薬は看護師が管理しており飲み忘れ、誤薬のないように日々、確認を行っている。内服薬の変更時は全職員が申し送り、記録で周知を図っている。服薬による状態変化には看護師に報告し主治医の指示を仰ぐようにしている。		
72 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	適度な運動を促したり水分を多めに摂るような支援を行ったり腹部マッサージを試みたり食物繊維の多い食事に心がけたりしている。		
73 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	誤嚥性肺炎の原因とならないように口腔ケアの重要性を職員全員が理解している。毎食後、声掛し歯磨き、嗽を行うよう働きかけ、無理強いすることなく習慣となるように支援している。義歯は夜間については預かり管理、洗浄液にて清潔を保っている。		
74 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事量や水分摂取量を記録、把握している。入居者の希望メニューを取り入れながら個々の症状にも配慮し栄養バランスを考えた献立を立てている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
75 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症予防対応マニュアルを作成しており、必要に応じて見直しを図ったり定期的に勉強会を行い、全職員が周知している。流行前には会議、講習会への参加の機会を設けて対応している。		
76 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	マニュアルに沿い、食中毒予防の為の衛生管理を徹底している。食器は毎食後、熱湯消毒しおしぼりや布巾、まな板等の調理用具はハイター消毒を行っている。一階がスーパーということで、毎日、新鮮な食材を購入してしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
77 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には鉢植えや造花等が置かれている他一般家庭にもある下駄箱を設置して気軽に出入りできる空間作りに心かけている。入り口にはホーム名が書かれた表示をしている。		
78 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者にとって快適であり居心地のよい環境、空間作りに努め、日々職員間で話し合い工夫をしている。共有空間はソファや植物が置かれているほか、絵画等も飾られており、落ち着いた雰囲気となるようにしている。		
79 ○共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホーム中央と出窓のところに、それぞれソファを配置し一人或いは入居者同士で思い思いに過ごせるスペース、空間を設けている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
80	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている</p>		
81	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
82	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している</p>		
83	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している</p>		
84	<p>○建物の活用</p> <p>建物を利用者が楽しんだり、活動できる ように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
95	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

「私たちのモットー」として、以下の三点を掲げています。

- ・やさしさ、笑顔を忘れず、仲良く暮らせるホームを目指します。
- ・認知症の状態にある方が、家庭的な環境で共同生活を送ることで、認知症の状態を改善したり、進行を緩やかにすることを目指します。
- ・生活のリズムは” ゆっくり ” ” 一緒に ” ” 楽しみながら ” 生活・リハビリを行い、 ” 手を出さず ” ” 口を出さず ” ” 目を離さない ” ことを心がけます。

.当ホームの1階はスーパーになっており買い物に便利です。またホームはつがる市の中心街に位置しており、周辺の環境にも恵まれております。買い物はじめ外出支援など、地域住民の一員としてこれまでの暮らしが継続できるように支援を行っています。